

妊娠女性の葉酸摂取率は 何によって決まっているか

Ishikawa *et al.* Update on the prevalence and determinants of folic acid use in Japan evaluated with 91,538 pregnant women: the Japan Environment and Children's Study. The Journal of Maternal-Fetal & Neonatal Medicine. 2018;33(3):427-436. doi: [10.1080/14767058.2018.1494712](https://doi.org/10.1080/14767058.2018.1494712)



【はじめに】

妊娠前の葉酸の摂取は、胎児の神経管閉鎖障害のリスクを軽減します。しかし、食事だけでは十分な葉酸の摂取が難しいため、妊娠前の葉酸サプリメントの摂取が推奨されています。そこで、妊娠前の葉酸補給のどのくらい普及しているか、また何が葉酸の摂取の規定因子かを明らかにするために調査を行いました。



【調査項目】

2011年から2014年にかけて、質問票や医師の記録などから妊娠前や妊娠中の葉酸サプリメント摂取状況と、葉酸サプリメントの使用との関連が知られている項目を調査しました。全国15地域に住む91,538名の女性から得られた情報を解析に用いました。

【結果】

■ 葉酸サプリメントの普及率

	妊娠前から 摂取 人数 (%)	妊娠判明後から 摂取 人数 (%)	非摂取 人数 (%)
2011年	1393 (7.4)	4190 (22.1)	13369 (70.5)
2012年	2265 (8.2)	6494 (22.6)	20026 (69.6)
2013年	2685 (8.2)	8085 (24.5)	22169 (67.3)
2014年	969 (9.1)	2568 (24.0)	7167 (67.0)

妊娠前からの葉酸摂取率は一桁台と低いものの、調査した4年の間に増加していく傾向にありました。

■ 葉酸サプリメント摂取の規定因子

社会人口学的因子・・・●年齢が高い ●結婚している
●学歴が高い ●所得が高い

生活習慣・・・・・・・・●BMIが30以下 ●喫煙をしない
●飲酒をしない

出産歴・・・・・・・・●初産 ●不妊治療している
●流産の経験がある
●妊娠合併症の経験がある

直近の薬剤使用歴・・・●抗てんかん薬の服用

統計学的な解析の結果、様々な社会人口学的因子、生活習慣、出産歴、薬剤使用歴が、葉酸サプリメント摂取の有無と関連しており、規定因子と考えられました。また、これらの関連は、調査した地域の間で差はありませんでした。

【この調査でわかったこと】

葉酸サプリメントの摂取率はまだまだ低いものの、増加傾向にあることがわかりました。また、葉酸サプリメント摂取を規定する因子が明らかになり、摂取にマイナスとなる要因を持つ妊娠敵齢の女性に対して、妊娠前からの葉酸摂取の重要性を周知するアプローチが可能となりました。